

センター通信

青少年の健全育成に向けて



阪神北少年サポートセンター
少年補導職員 丸山 憲香

今年の4月でこの仕事を始めて3年目となりました。

私の主な仕事内容は、

- ①未成年の喫煙・怠学などに対し指導や注意を行う『街頭補導』
 - ②少年非行防止に向けた講演活動『非行防止教室』
 - ③保護者や先生方から相談を受け、問題行動のある少年の面接・指導を行う『少年相談』
- この3点です。

これらはすべて、青少年の健全育成には欠かせないものであります。今回はその主な仕事の1つである、『街頭補導』に焦点をあててお話ししたいと思います。新米小娘の話にはなりますが、少しだけお付き合いいただけると嬉しいです。

まず街頭補導は知らない人に声をかけるところから始まります。また、私たちが日頃もつとも相手にするのは未成年での喫煙・怠学などのいわゆる『不良行為少年』です。

『不良』と聞くと、怖い・悪いというイメージを抱かれると思います。私もこの仕事を始めたばかりの頃はそう思っていました。しかし実際は、想像とは全く異なるものでした。

染髪にピアス、濃いメイクなど見た目こそ派手であるものの、実際に話してみると明るく気さくで接しやすく、その上、私たち大人のことをよく覚えています。街頭活動中、こちらに気づいた少年が、自ら声をかけてくれ、最近の出来事を聞かせてくれるなんてこともありました。

この街頭補導活動は、青少年の健全育成を図るにあたって、高い重要性があると私は考えています。なぜなら、この活動によって

- ①情報収集（彼らの交友関係の把握、行方不明少年を探す手掛かりになることも）
- ②非行防止（顔見知りになることで、居場所を作り非行に走りにくくする）
- ③周りへの影響（顔見知りの子がほかの友達の非行を防止する）

といった効果が期待できるからです。

この効果は、普段学校の先生方やPTAの方々、少年補導委員さんや補導員さん、そして地域の方々がしてくださっている『声かけ』にも同じことが言えると思います。

上記で挙げた子どもたちだけでなく、すべての子に共通して当てはまるのではないかと私は考えています。

一般的に言えば、声かけはとても勇気のいることです。お恥ずかしい話、私がこの仕事に就いたばかりの頃は、ビビりまくって声かけ一つ、ろくにできませんでした。そんな中、勇気のいることを普段からされている皆さんは本当にすごいなと心からそう思います。

こんな私ですが、青少年の健全育成にける思いは、皆さんと同じです。

私も早く一人前になれるよう日々奮闘し頑張っています。引き続き、少年への声かけ・見守りをよろしく願いいたします。最後までお読みいただきありがとうございます。

令和4年・5年度 少年補導委員
就任研修会

5月16日(月)、午前と午後の2回に分けて、総合教育センターにて少年補導委員就任研修会が行われました。

研修会では、育成の手引きを基に実例を交え、補導活動を行う時の留意点や子どもたちへの「声かけ」のポイントについての研修を行いました。

真剣なまなざしで、メモをとりながら傾かれる姿に、少年補導委員さんとしての意気込みを感じました。そして、この真摯な少年補導委員さんたちが伊丹市の子どもたちを温かいまなざしで見守ってくださる、本当にありがたい存在であると思いました。

少年補導委員の皆様、これから2年間の活動をどうぞよろしくお願いたします。

また、地域の方におかれましては、赤いベストを着用して補導活動を行っている姿を見かけられましたら、あいさつの一声をおかけいただき、子どもたちの目に地域の大人は一枚岩であるという姿をお見せいただければと思います。



補導活動 (5月)	幼児 小学生	中学生	高校生 その他	大人
あいさつ	1841	354	68	328
声かけ	312	43	46	104
遊びに関すること	3	0	13	0
交通に関すること	14	2	9	2
その他	1	0	0	0

相談活動 (5月)		(5月) 有害図書回収状況	
電話相談	3件	有害図書	53冊
来所相談	2件	有害AV等	347枚
メール相談	0件		

- 白ポスト設置場所
(市内15箇所)**
- ・車塚公園・中野西公園
 - ・裁判所前・いたみホール
 - ・南センター・北センター
 - ・阪急楠野駅・阪急伊丹駅
 - ・阪急新伊丹駅・JR伊丹駅1F
 - ・JR北伊丹駅南口・山田バス停
 - ・兼牧バス停・バラ公園バス停
 - ・西条津バス停

- 子どもと保護者のためのなやみ相談窓口**
- <電話相談> ☎072-770-8742
月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く) 10:00～17:30
 - <来所相談> (要予約) ☎072-780-3540
月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く) 10:00～17:00
 - <メール相談> aico@tsami.ed.jp
- または、当センターHPのメールフォームをご利用ください

第56回 少年育成協会 総会・研修会

5月30日(金)、スワンホールにて少年育成協会の総会が3年ぶりに開催されました。

ご来賓として副市長様をはじめ、伊丹市議会議長様、伊丹警察署長様が会に華を添えてくださるとともに、講演会を含めて130名の参加者が一堂に会しました。総会では、すべての議事が滞りなく可決され、総会に続いて研修会が開催されました。

演題 「オンラインもいいけど、対面もね!
～子どもたちの大きな変化に大人が寄り添う術～」

講師は兵庫県内各地、また、伊丹市のスクールカウンセラーでもある福島 美由紀 先生。福島先生のワークショップを交えながらの軽妙なご講演に心をわしづかみにされ、90分という時間はあっという間に過ぎていました。

ご講話の中で、一番印象に残ったことは「人はどうしたら『安心』を得るのか」ということでした。人が安心を覚えるために必要なことは3点。

まずは「睡眠」。睡眠は体の回復、夢を見ることが心のケアとなる、記憶の定着につながるそうです。次に「運動」。体を動かすことが脳の活性化につながるそうです。そして、「人と会って話をする」。人と会うとミラーニューロンが活性化され、さらに言葉を交わすと心が浄化されるそうです。だからこそ、「対面して会話をすること」が大切な寄り添い方のポイントとなると感じました。

また、副交感神経の中の腹側迷走神経と呼ばれる迷走神経は防衛反応を抑制するブレーキ機能(背側迷走神経)と人と人の関わりを司る脳神経系との複合体と考えられ、「社会的関わりシステム」を司っているということ。これらの運動、協働によって、人は人と関わることで落ち着き、表情を柔らかくし、「安心」や「安全」「やすらぎ」を覚える「マインドフル」な状態になるとのことでした。

子どもたちに対面して声をかける時、何の話をするか。会話をしている時の話題づくりとして「木戸に立ちかけし衣食住」というおまじまいの一種を教えてくださいました。それぞれの頭文字を並べ、「気象」「道楽(趣味)」「ニュース」「旅」・・・と、覚えて実践してみようと思いました。

そうはいっても、悪い事をしていたら、「悪い」と叱らないといけない場面もあります。福島先生は「その行為の原因を4つの視点(生まれつきの特性・トラウマや病気・性格・環境)で見立て、手立てを考え、工夫していくことが大切である。」と考え、実践されているそうです。

スマホを持って生まれてきたと言われる子どもたちとどのように向き合って、どのように会話をしていくべきなのかを考えさせられた講演でした。

(4/28～) 5月の事案		(少年愛護センターへの通報・ひょうご防犯ネット情報)	
日	時刻	場所(事案)	概要
4/28	18:15	山田4(つきまとい)	自転車で行方不明中の女子高生に対して、自転車に乗った男が後方を無言でついてきたり、何度も並走するなどした。
5/27	12:30	大阪国際空港北ターミナル展望デッキ(無断撮影)	遊戯中の男子幼児等に対して、男がスマートフォンを向けて撮影する素振りをした後、いずれかに立ち去った。
5/31	18:00	春日丘2(不審者)	談笑している女子小学生達に対して、男が数秒間じっと見て立ち去った。

<6月の主な行事>	
3(金)	兵庫県青少年補導センター連絡協議会 第2回理事会(所長会)
7(火)	伊丹市少年補導委員連合会 役員会
7(火)	伊丹市少年補導委員連合会 定例理事会
9(木)	第1回 愛護補導連絡会(全体会)
10(金)	広報啓発活動・一斉補導
10(金)	第67回 阪神地区青少年センター連絡会
10(金)	阪神地区青少年補導委員連絡協議会 第1回 役員会・総会
24(金)	有害図書回収
30(木)	伊丹市青少年を守る店連絡協議会 役員会 伊丹市青少年を守る店連絡協議会 定期総会 量販店部会研修会
(上旬~下旬)	第1回 学校補導連絡会(各中学校)
(随時)	街頭補導活動(各小学校区) 中学校区内補導活動(各中学校区) 電話・来所・メール相談(愛護センター)